

## 令和6年度 第3回 学校運営協議会（記録抜粋）

- 1 日時 令和6年11月14日（木）9:00～11:00
- 2 会場 浜松みをつくし特別支援学校 会議室
- 3 出席者 学校運営協議委員 6人 学校関係者 6人

今年も、本校では「はまみ夢ウイーク」が行われました。校内作品展は11月6日から始まり、14日と15日の二日間は作業製品の販売会やステージ発表などが行われました。保護者や地域の方を含め、総勢361人の方々に来校いただきました。学校運営協議委員の皆様にも子どもたちの発表の様子を実際に参観していただきました。

議事では、コミュニティースクールプロジェクトの進捗状況と危機管理マニュアルの課題について話し合いが行われました。以下に内容を一部抜粋してお伝えします。

### 4 議事

#### (1) コミュニティースクールプロジェクトの進捗状況

- ・サポーターの登録数が増え、現在23人が登録している。登録のきっかけは、サポーター募集のポスターや本校職員からの紹介が多い。30代から90代といった幅広い年代の方々が活躍されている。
- ・校外学習の付き添いや発表会の観客、作業学習でのミシンの見届け、布の裁断といった子どもの見守りや学習準備での活躍が多い。ガーデニングクラブや防災学習、美術の授業で、ゲストティーチャーとして指導にかかわってくれた方もいる。
- ・職員からは、サポーターは子どもたちを見守り励ましてくれる存在であり、地域の人と関わる時間は子どもにとって大変貴重であるといった声が聞こえてきている。

楽しく活動できていることが継続につながる。教職員の要望とサポーターのマッチングがうまくいっており、満足度も高い。今までどおり目的を明確にして、実施してほしい。

#### (2) 危機管理マニュアル

- ・危機管理マニュアルをGoogleドライブの教職員個人アカウントに保存し、いつでも確認できるようにした。
- ・防災備蓄品が、どこに何がいくつあるか図式化して示した。
- ・不審者訓練を初めて実施。不審者の侵入時の校内放送（合言葉）が伝わりにくいという課題がある。

不審者侵入だけにこだわらず、危機発生を知らせるキーワードを決めて、全体に知らせたほうが、どのようなときも対応できるのではないか。

- ・今年の夏の南海トラフ地震臨時情報の発表を受けて、体制や対応などで課題や見直しが必要だと感じている。

臨時情報の巨大地震注意、巨大地震警戒、震度0以上のときといったように場合分けをして、それぞれの場合ごとに対策本部を作り、体制や対応をマニュアルに記載したらどうか。